

南国市立図書館サービス計画

令和6年3月

南国市教育委員会

目 次

第1章 計画の策定にあたって	1
1 計画策定の趣旨・目的	
2 計画の位置づけ	
3 計画期間	
第2章 南国市立図書館の現状と課題	3
1 図書館の現状	
2 課題	
第3章 基本理念と基本方針	6
1 基本理念	
2 基本方針	
第4章 具体的な取り組み	8
施策1－1 資料の継続的な収集・提供	
施策1－2 レファレンスサービスの充実	
施策1－3 子育て支援サービス	
施策1－4 暮らしの安心のための資料の充実	
施策1－5 行政支援・政策支援	
施策2－1 郷土資料の積極的な収集・整理・保存	
施策2－2 地域を知るための事業	
施策3－1 児童サービスの充実	
施策3－2 学校や保育施設への支援	
施策3－3 ティーンズサービスの充実	
施策3－4 支援が必要な人へのサービス	
施策3－5 多文化サービス	
施策4－1 市民の学びや成長につながる企画や講座等の開催	
施策4－2 図書館ボランティアの育成と協働	
第5章 計画の推進に向けて	16
1 取り組みの点検・評価	
2 成果指標・数値目標一覧	
3 参考数値一覧	

第1章 計画の策定にあたって

1 計画策定の趣旨・目的

(1)これまでの図書館

南国市立図書館は、昭和 54 年 9 月 28 日、市制 20 周年を記念して、旧水道局庁舎を改修して創設されました。その後、平成 6 年に、後免町商店街にあった旧四国銀行に移転、また、平成 18 年からは、南国市篠原の法務局南国出張所の土地建物を購入し、改装して図書館として運営してきました。

これまでの施設は規模が小さく、また、図書館として建設されたものではない施設を使用してきたため、十分な図書館サービスが提供できない状況が続いてきました。

平成 29 年 3 月、「南国中央地区都市再生整備計画」及び「南国市立地適正化計画」において、図書館を中心拠点誘導施設として位置づけ、規模拡大して移転整備することとなりました。また、令和 2 年 3 月には、「南国市立図書館建設整備基本計画」（以下「整備基本計画」という。）を策定しました。これらの計画に基づき、令和 7 年度開館に向け、南国市駅前町に新しい図書館を建設整備する事業を進めています。

(2)計画策定の趣旨・目的

新しい図書館を建設整備するにあたっての基本的な考え方は、整備基本計画にまとめられています。このサービス計画は、その基本的な考え方を踏まえた上で、新しい図書館において提供する図書館サービスや取り組むべき施策を具体的に示し、開館に向けた準備を円滑かつ計画的に進めるとともに、開館後の充実したサービスの提供を目指すためのものです。

2 計画の位置づけ

(1)法制度の中での位置づけ

本計画は、図書館法(昭和 25 年法律第 118 号)及び「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」(平成 24 年文部科学省告示第 172 号。以下「望ましい基準」という。)に示されている公立図書館の役割を果たし、より良いサービスを提供するためのものです。したがって、望ましい基準に定められている市町村立図書館の「基本的運営方針」及び「事業計画」に基づいて策定するものです。

(2)南国市の行政計画における位置づけ

南国市の上位計画として、「第 4 次南国市総合計画後期基本計画」が策定されており、「基本目標 4 教育・文化のまち」の主要施策において「図書館機能の充実と読書活動の推進」が定められています。

また、南国市教育委員会では、「南国市教育振興基本計画」が策定されており、生涯学習の推

進のための施策として「市民の求める情報提供、心を育む読書活動の推進」が定められています。

本計画は、これらの上位計画と整合性を図り、計画の実現に向けて施策を具体的に実施していくためのものとして策定するものです。

3 計画期間

本計画は、市の上位計画である「第4次南国市総合計画」の計画期間との整合を図り、令和12年度までの7年間とし、その後は、5年間ごとに見直すものとします。

ただし、図書館をめぐる環境の変化などにより、計画の見直しが必要な状況が生じた場合は、随時見直すこととします。

第2章 南国市立図書館の現状と課題

1 図書館の現状

(1) 現図書館の概要

① 施設の概要

所在地 〒783-0006 高知県南国市篠原 1801-5
敷地面積 1,011.74 m²
延床面積 1,237.15 m²
建物構造 鉄筋コンクリート 3 階建
建築年 昭和 56 年(1981 年)3 月建築、平成 3 年(1991 年)増築
駐車場 12 台
駐輪場 約 20 台
座席数 25 席(うち机あり 14 席)

② 開館時間・休館日

開館時間 平日 10 時～18 時
土日 10 時～17 時
休館日 毎週月曜日、祝日、館内整理日(毎月最終平日(月曜日を除く))
年末年始、蔵書点検期間(2 月～3 月に 10 日間以内)

③ 蔵書冊数等

	蔵書冊数(年度末時点)	貸出点数	登録者数
令和 2 年度	100,718	109,246	15,861
令和 3 年度	104,960	127,569	16,509
令和 4 年度	106,188	119,212	17,087

※令和 2 年度は、新型コロナウイルスの影響で休館期間(約 2 カ月間)あり。

(2) 新図書館の概要(計画)

① 施設の概要

所在地 〒783-0002 高知県南国市駅前町 3 丁目
敷地面積 5,458.01 m²
延床面積 2,020.79 m²
建物構造 鉄骨造+鉄筋コンクリート造+木造
建築年 令和 7 年度完成予定
駐車場 約 52 台(追加駐車場を約 20 台整備予定)
駐輪場 79 台

座 席 数 読書室 13 席、グループ学習室 28 席

その他約 70 席 (2 階談話コーナーを含む)

所蔵可能冊数 開架書架 約 10 万冊、閉架書庫 約 8 万冊

②開館時間について

新図書館では、駐車場や学習スペースが充実するため、利用者層も多様化すると考えられ、開館時間についても利用状況に応じて検討する必要があります。開館日や開館時間を増やすためには、その時間に利用者への対応が適切に行えるだけの人員配置が必要となります。利用者ニーズや南国市立図書館の課題、市の財政状況などを踏まえて、図書館サービスのあり方を総合的に検討する必要があります。

2 課題

(1)資料の充実

新図書館では、所蔵冊数約 18 万冊、うち開架冊数約 10 万冊を計画しており、新図書館に向けて資料を充実させる必要があります。現在の図書館の所蔵冊数は上記のとおり約 10 万冊、うち開架冊数は約 5 万冊ですが、書庫の資料は古いものが多く、全てを開架できるわけではありません。目安として、新図書館の開館時の開架冊数を、開架書架の 7 割程度は揃えたいと考えており、新図書館に向けて、継続的に新しい資料を購入していく必要があります。

(2)職員体制の拡充、職員のスキルアップ

新図書館では、所蔵可能冊数の規模が約 2 倍となり、駐車場台数等も大幅に増加することから、利用者数も大幅に増加することが見込まれます。それに伴って、貸出・返却等の日常業務が増加するとともに、様々な問い合わせ(レファレンス)への対応、新たなサービスやイベント等の企画立案など、新図書館に相応しい運営をするために必要な業務が増加します。

現在は、正職員 2 名、再任用職員 2 名、会計年度任用職員 7 名の計 11 名(うち司書 7 名)の体制ですが、これらの増加する業務に対応するため、職員体制の拡充が必要です。また、これらの業務に的確に対応するために、司書を中心とした職員のスキルアップが不可欠です。

特に司書については、図書館の資料を継続的に把握し、地域の課題解決に資するためにも、継続して業務に携わり、経験を積み重ねることが求められます。そのため、継続的な雇用とスキルアップの機会を十分確保することが必要です。

(3)ボランティアとの協働

現在の図書館では、「図書館友の会」や「布絵本の会ちくちく」といったボランティア団体があり、これまで様々な図書館活動の中でご協力をいただけてきました。

新図書館においては、地域づくりに役立つ図書館、市民とともに歩む図書館として、図書館運営やサービス提供の様々な面で図書館ボランティアの活動を受け入れ、ともに歩んでいきたいと考

えています。そのため、新図書館に向けてボランティアの募集や、活動分野ごとの再構成などを検討する必要があります。

(4) 各学校など地域の組織や団体との連携

地域の中で役立ち、地域とともに歩む図書館であるためには、南国市内の様々な組織や団体と連携しながら、図書館運営を行っていくことが求められます。現在でも、市内の小中学校や未就学児童施設への支援図書貸出等を行っていますが、今後は、図書館の設備や資料を地域の中で十分生かせるよう、これまで連携のなかった市内の様々な組織や団体との連携も模索していく必要があります。

第3章 基本理念と基本方針

1 基本理念

整備基本計画で示された基本理念をもとに、南国市立図書館を運営し、サービスを提供していくうえでの基本理念を、次のように定めます。

市民の知る権利と学習権を保障し、地域づくりの拠点となる図書館

私たちが生きる社会は、グローバル化の進展や技術の進歩により目まぐるしく変化するなか、少子高齢化や人口減少、地方の過疎化といった様々な課題に直面しています。また、最近では新型コロナウイルス感染症の流行が、私たちの生活を大きく揺さぶり、社会の変化をもたらしてきました。公立図書館は、このような急速な社会の変化のなかで、市民一人ひとりが自ら学び、考え、自立した生活を送るための様々な情報を提供する場として、ますます重要な役割を担っています。

また、公立図書館の役割は、資料の貸出や学習スペースの提供にとどまらず、地域づくりの拠点として、地域の課題解決に貢献することや、地域の結節点となることが重視されるようになっていきます。

これらを踏まえ、南国市立図書館の基本理念を上記のように定め、この理念の実現を目指して図書館の運営およびサービス提供を行っていきます。

2 基本方針

上記の基本理念を実現するために、整備基本計画で示された基本方針をもとに、次の4つの項目を南国市立図書館のサービス提供における基本方針とします。

(1) 市民に役立つ資料や情報を収集し、市民の学びと成長を支援します。

図書館の基本的な役割は、多様な資料を収集・保存し、資料の閲覧や貸出を通じて市民の求める情報を提供することです。特に、様々な課題を抱える市民の多様なニーズに応え、その課題解決に寄与することは、図書館の極めて重要な役割といえます。

新しい図書館において、市民の多様なニーズに応えられるよう、多様な資料を収集・保存するとともに、レファレンスサービスの強化や子育て支援コーナーの設置などを通じて、市民の課題解決に役立つようサービス提供を行います。

(2) 郷土資料を積極的に収集し、郷土を知り、学ぶ機会を提供します。

郷土資料には、高知県や南国市に関する資料、高知県や南国市の行政機関が発行した地方行政資料、地図資料、高知県出身・在住の方の著作など様々なものがあります。これらの郷土資料は、市民にとって地域への理解と愛着を深めるとともに、地域文化を継承するための貴重な財産であり、これらの資料の収集・保存は公立図書館の重要な役割とされています。

地域の文化や歴史を継承するため、上記のような様々な郷土資料については、積極的に収集・保存し、これらの資料の提供を通じて、市民が郷土を知り、学ぶ機会を提供します。

(3) 子どもから高齢者まで、全ての世代の読書活動を支えます。

子どもから高齢者、また障害のある方なども含め、全ての世代が読書に親しめるよう環境整備やサービス提供を行います。小学生以下の子どもを対象にする児童サービス、中学生・高校生など10代の若い人たちを対象にするティーンズサービス、障害のある方や日本語以外の言語を母国語とする方のためのバリアフリーサービス等を通じて、あらゆる人の読書活動を支援します。

南国市では「南国市子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもの読書活動推進のため取り組みを進めており、計画の中で位置づけられた図書館の取り組みを、引き続き実施していきます。

(4) 人と人との出会い、知識や経験を共有し、互いに成長する場を提供します。

公立図書館のあり方は、歴史とともに進化してきました。現在の公立図書館においては、資料の貸出や学習スペースの提供にとどまらず、地域づくりの拠点として、地域の課題解決に貢献することや、地域の結節点となることが重要な役割とされるようになっていきます。

これまでの図書館では、スペースが狭く、市民が集う場所を提供することは困難でした。新しい図書館においては、集会室やグループ学習室、ボランティアの方が活動できる部屋などを整備する計画であり、これらの設備を生かし、人と人との出会い、市民が互いに成長しあえるような場を提供します。

第4章 具体的な取り組み

第3章に掲げた基本理念と基本方針を実現するための具体的な取り組みとして、下記のサービス・施策を実施していきます。

(1) 市民に役立つ資料や情報を収集し、市民の学びと成長を支援します。

施策1-1 資料の継続的な収集・提供

市民の求める情報を提供し、そのニーズに応えるためには、所蔵資料を充実させることが必要不可欠です。図書館サービスの基本である資料の閲覧や貸出を通じて、市民の求める様々な情報を提供するため、市民のニーズに応えながら多様な資料を継続的に収集します。

【成果指標と数値目標】

指標名	現状値(R4 年度)	目標値(R12 年度)
蔵書冊数	106,188 冊	130,000 冊
貸出点数	119,212 点	286,000 点
市民1人当たり貸出点数	2.4 点	4.7 点

【参考数値】

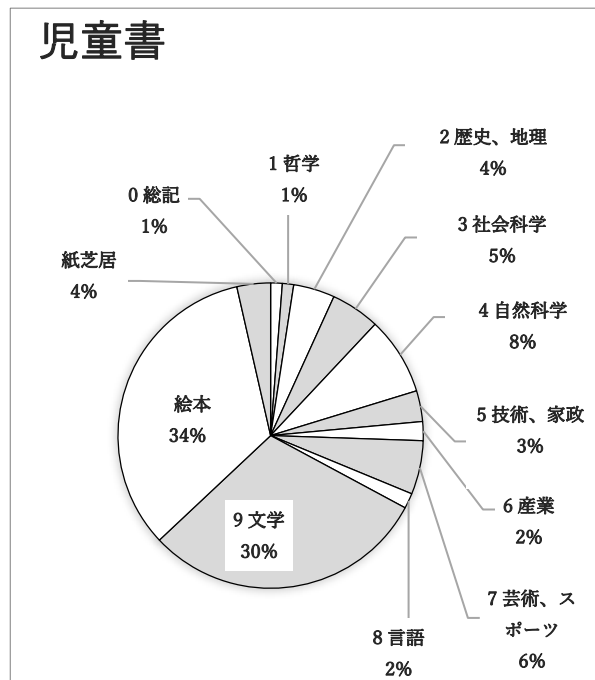
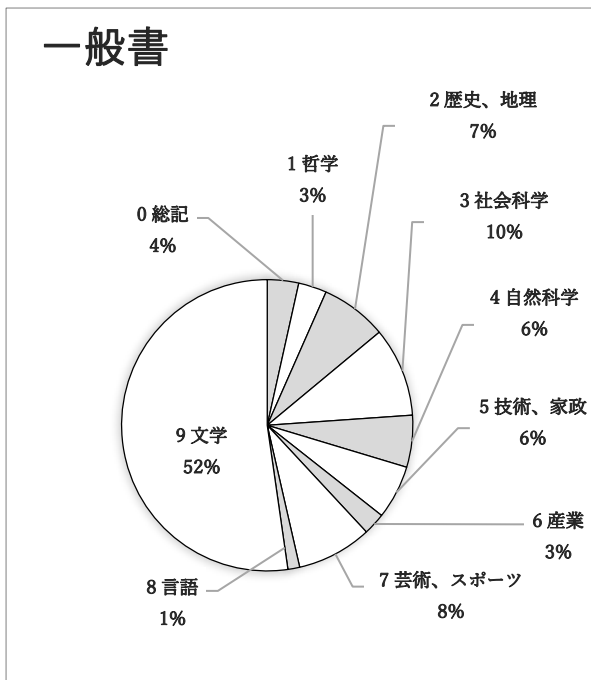
指標名	現状値(R4 年度)
資料費決算額(新聞・雑誌含む)	7,763 千円
図書年間購入冊数	3,162 冊

【参考資料】 蔵書構成(R5.3.31 現在)

(単位:冊)

	一般書	児童書	郷土資料	入交文庫	参考図書	合 計
0 総記	1,979	447	497	204	261	3,388
1 哲学	1,782	435	108	70	18	2,413
2 歴史	4,179	1,593	2,358	368	219	8,717
3 社会科学	5,636	1,888	2,192	315	290	10,321
4 自然科学	3,276	3,007	272	90	225	6,870
5 技術	3,392	1,186	425	47	38	5,088
6 産業	1,396	732	349	78	74	2,629
7 芸術	4,736	2,069	623	21	64	7,513
8 言語	745	587	118	35	235	1,720
9 文学	29,702	10,966	2,798	534	53	44,053

- 絵本		12,182				12,182
- 紙芝居		1,294				1,294
合 計	56,823	36,366	9,760	1,762	1,477	106,188



施策1-2 レファレンスサービスの充実

レファレンスサービスは、市民の様々な問い合わせや調査依頼に対応し、図書館の資料を用いて回答するサービスのことで、図書館サービスの中でも非常に重要なサービスです。本を探しているといった問い合わせから、様々な調べ物の支援まで、幅広く市民の問い合わせに対応できるよう、レファレンスに役立つ資料の充実や、司書の技能向上を図り、レファレンスサービスの充実・強化に努めます。

【成果指標と数値目標】

指標名	現状値(R4 年度)	目標値(R12 年度)
レファレンス件数	912 件	2,200 件

【参考数値】

指標名	現状値(R4 年度)
参考図書蔵書冊数	1,477 冊

施策1-3 子育て支援サービス

子育て世代への支援として、育児や教育に関連した資料を集めた「子育て支援コーナー」を設けるとともに、絵本や紙芝居の所蔵の充実を図ります。新しい図書館のおはなし室は、おはなし会などの行事がない時には、子どもや親子がゆったり過ごせるスペースとして開放します。また、子育て支援にかかわる関係機関と連携し、子育て世代に役立つ情報提供を行っていきます。

【成果指標と数値目標】

指標名	現状値(R4 年度)	目標値(R12 年度)
子育て支援コーナー蔵書冊数	100 冊(※1)	250 冊

※1 現在はスペースの関係で廃止していますが、以前コーナーを設置していた際には、約 100 冊を配架していました。現在、関係資料は各分類の書架や書庫に分かれて配架されています。

施策1-4 暮らしの安心のための資料の充実

南海トラフ地震が想定される高知県においては、防災関連の資料や情報を提供することは市民の暮らしの安全にとって極めて重要です。また、高知県では「日本一の健康長寿県構想」の取り組みを進めており、新型コロナウイルス感染症が流行を繰り返す状況の中で、健康や医療に関する資料や情報についても、市民のニーズや重要性が高いと考えられます。

このような防災関連、健康・医療関連など、市民の暮らしの安心・安全に大きくかかわるような資料については、充実に努めるとともに、様々なテーマで企画展示を行うなど、情報提供に努めることで、市民の暮らしの中で生じる課題の解決を支援します。

【成果指標と数値目標】

指標名	現状値(R4 年度)	目標値(R12 年度)
防災・健康・医療に関連する企画展示等の実施回数	3 回	6 回

施策1-5 行政支援・政策支援

市の議会や行政への支援として、政策立案や行政課題解決に役立つ資料については、積極的に収集するとともに、行政課題解決のための情報収集を支援するなど、レファレンス機能の強化に努めます。

(2)郷土資料を積極的に収集し、郷土を知り、学ぶ機会を提供します。

施策2-1 郷土資料の積極的な収集・整理・保存

高知県や南国市に関する資料、高知県や南国市の行政機関が発行した地方行政資料、地図資料、高知県出身・在住の方の著作などの郷土資料は、市民が郷土について知り、学ぶとともに、地域文化を継承するための貴重な財産であり、これらの資料の収集・整理・保存は公立図書館が担う重要な役割とされています。この役割を果たすため、上記の様々な郷土資料について、積極的な収集・整理・保存を行います。

【成果指標と数値目標】

指標名	現状値(R4 年度)	目標値(R12 年度)
郷土資料の貸出点数	2,008 点	4,800 点

【参考数値】

指標名	現状値(R4 年度)
郷土資料蔵書冊数	9,760 冊

施策2-2 地域を知るための事業

郷土資料を積極的に収集・保存するとともに、郷土資料の企画展示や、郷土作家や地域を知るための講座を開催するなど、様々な形で資料提供・情報提供を行い、市民が郷土を知り、学ぶ機会を提供していきます。

【成果指標と数値目標】

指標名	現状値(R4 年度)	目標値(R12 年度)
郷土に関する企画展示等の実施回数	5 回	10 回

(3) 子どもから高齢者まで、全ての世代の読書活動を支えます。

施策3-1 児童サービスの充実

子どもの頃から本に親しむ機会を提供する児童サービスは、図書館サービスの中でも非常に重要なサービスの一つです。読書が子どもの成長や学力向上に役立つことは広く知られていますが、それだけでなく、人生の早い時期に図書館に親しむことで、図書館の利用方法に習熟し、将来的な課題解決能力を養うことにもつながると考えられます。

絵本や児童書の蔵書を充実させるとともに、おはなし会の開催、ブックスタート事業(※2)、子どもが図書館に親しめるような企画の開催などを通じて、充実した児童サービスの提供に努めます。

※2 ブックスタート事業…乳幼児健診などの機会に、絵本をひらく楽しい「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする活動。南国市立図書館では、10カ月健診の際に、絵本、布製のブックスタートバッグ、図書館利用案内などを1セットにしてプレゼントしています。

【成果指標と数値目標】

指標名	現状値(R4 年度)	目標値(R12 年度)
児童書の貸出点数	57,554 点	138,000 点
おはなし会参加延べ人数(※3)	173 人	600 人

※3 新型コロナウイルス感染症の影響で、R4 年度は約 4 カ月休止期間あり。

【参考数値】

指標名	現状値(R4 年度)
児童書年間購入冊数	1,037 冊
ブックスタート事業実施率	93%

施策3-2 学校や保育施設への支援

児童サービスの一環として、「保育学校支援図書貸出事業」を引き続き実施し、学校や未就学児童施設への貸出や出張おはなし会、レファレンスによる調べもの支援、図書館見学の受け入れなどを行います。

また、市内の各学校図書館と連携し、情報提供など必要な支援を行います。

【成果指標と数値目標】

指標名	現状値(R4 年度)	目標値(R12 年度)
保育学校支援図書貸出利用点数	836 点	2,000 点

施策3-3 ティーンズサービスの充実

中学生・高校生を中心とした 10 代の若者向けに、学習に役立つ本や進路や就職を考える際に役立つ本などを集めたティーンズコーナーを引き続き設置し、若い世代の読書活動、学習や生活、進路選択などを支援します。ティーンズ資料の中でも、職業や仕事、学校生活や社会生活に役立つ資料については積極的に収集するとともに、進路支援のコーナーを設け、若者世代の就職、進路選択を支援します。

【成果指標と数値目標】

指標名	現状値(R4 年度)	目標値(R12 年度)
ティーンズ資料蔵書冊数	4,756 冊	5,800 冊

施策3-4 支援が必要な人へのサービス

視覚障害のある方など、文字情報の利用が困難な人に対する支援として、大活字本、LLブック、点字図書、さわる絵本などを集めたバリアフリーコーナーを設け、多様な資料を収集・提供します。また、新しい図書館では対面音訳室を整備するとともに、「高知声と点字の図書館」と連携して職員のスキルアップやボランティアの養成を図り、文字情報の利用が困難な人への対面音訳サービスを提供できる体制を整えます。

【成果指標と数値目標】

指標名	現状値(R4 年度)	目標値(R12 年度)
バリアフリー資料蔵書冊数	644 冊	840 冊

施策3-5 多文化サービス

外国から来られた方など日本語以外の言語を使用する人へのサービスとして、外国語で書かれた資料や語学に関する資料、日本語を学ぶための資料などを集めた多文化コーナーを設け、多様な資料を収集・提供します。これらの人々が地域で生活するために役立つ資料や情報を提供するとともに、様々な外国の文化を知り、相互理解につながるような資料提供に努めます。

【成果指標と数値目標】

指標名	現状値(R4 年度)	目標値(R12 年度)
多文化資料蔵書冊数	586 冊	760 冊

【参考資料】

国籍別外国人住民数	南国市	高知県
中国	49 人	892 人
ベトナム	148 人	1,356 人
韓国	16 人	447 人
フィリピン	27 人	754 人
ブラジル	1 人	22 人
ネパール	6 人	109 人
インドネシア	12 人	442 人
米国	5 人	161 人
タイ	6 人	54 人
台湾	0 人	48 人
その他	90 人	753 人
総数	360 人	5,038 人
外国人住民割合	0.78%	0.74%

〔出典〕在留外国人統計(R4 年 6 月末現在)

(4) 人と人とが出会い、知識や経験を共有し、互いに成長する場を提供します。

施策4-1 市民の学びや成長につながる企画や講座等の開催

これまでの図書館では、多人数が使用できる部屋がなく、講座やイベントなども開催しにくい状況でした。新しい図書館では集会室やグループ学習室などを整備する計画であり、これまで連携のなかった市内の組織や団体との連携も視野に入れ、多くの市民が様々なことを学び成長できる講座や、読書に親しめるようなイベントなどを開催し、図書館が市民の成長や交流の場となるような機会を提供していきます。

また、図書館資料と市民とをつなぐための企画展示については、現在でも館内数か所で行っていますが、新図書館においても、引き続き様々な視点で企画展示を実施し、市民の学びと成長につながるような情報提供の充実に努めます。

【成果指標と数値目標】

指標名	現状値(R4 年度)	目標値(R12 年度)
来館者数	31,119 人	124,000 人
企画展示実施回数	72 回	100 回
講座・イベント等の実施回数	3 回	6 回
上記の企画展示、講座・イベント等のうち市内の組織や団体と連携して実施した回数	1 回	5 回

施策4-2 図書館ボランティアの育成と協働

現在、ボランティア団体として、「図書館友の会」、「布絵本の会ちくちく」が活動されています。新しい図書館では、図書館運営やサービス提供の様々な面でボランティアの方と協働し、地域の中で市民とともに歩む図書館を目指します。

そのために、図書館ボランティアについて広く周知するとともに、育成のための機会を提供し、ともに図書館サービスの充実に向けて取り組んでいきます。

【成果指標と数値目標】

指標名	現状値(R4 年度)	目標値(R12 年度)
図書館ボランティア活動回数	20 回	36 回

第5章 計画の推進に向けて

1 取り組みの点検・評価

基本理念や基本方針の実現に向けて、前章の具体的な取り組みが実施されているかどうか、定期的な点検・評価を行い、計画の推進に努めます。図書館が毎年度の取り組みの成果を取りまとめ、南国市立図書館協議会において成果を報告し、点検・評価を受けるものとします。そして、その評価をもとに次年度の取り組みの改善や向上に努めるものとします。

併せて、利用者アンケートなどを通じて、市民の声を聴き、それをもとに図書館サービスの改善につなげていきます。アンケート結果やそれに基づくサービス改善についても、南国市立図書館協議会において、毎年度、状況報告を行うものとします。

2 成果指標・数値目標一覧

基本方針	指標名	現状値(R4 年度)	目標値(R12 年度)
(1)	蔵書冊数	106,188 冊	130,000 冊
	貸出点数	119,212 点	286,000 点
	市民1人当たり貸出点数	2.4 点	4.7 点
	レファレンス件数	912 件	2,200 件
	子育て支援コーナー蔵書冊数	100 冊	250 冊
	防災・健康・医療に関連する企画展示等の実施回数	3 回	6 回
(2)	郷土資料の貸出点数	2,008 点	4,800 点
	郷土に関する企画展示等の実施回数	5 回	10 回
(3)	児童書の貸出点数	57,554 点	138,000 点
	おはなし会参加延べ人数	173 人	600 人
	保育学校支援図書貸出利用点数	836 点	2,000 点
	ティーンズ資料蔵書冊数	4,756 冊	5,800 冊
	バリアフリー資料蔵書冊数	644 冊	840 冊
	多文化資料蔵書冊数	586 冊	760 冊
(4)	来館者数	31,119 人	124,000 人
	企画展示の実施回数	72 回	100 回
	講座・イベント等の実施回数	3 回	6 回
	上記の企画展示、講座・イベント等のうち市内の組織や団体と連携して実施した回数	1 回	5 回
	図書館ボランティア活動回数	20 回	36 回

3 参考数値一覧

基本方針	指標名	現状値(R4 年度)
(1)	資料費決算額(新聞・雑誌含む)	7,763 千円
	図書年間購入冊数	3,162 冊
	参考図書蔵書冊数	1,477 冊
(2)	郷土資料の蔵書冊数	9,760 冊
(3)	児童書年間購入冊数	1,037 冊
	ブックスタート事業実施率	93%

南国市立図書館サービス計画
令和6年3月

南国市教育委員会事務局生涯学習課
〒783-8501 高知県南国市大樋甲 2301 番地
TEL 088-880-6569 FAX 088-863-1167

南国市立図書館
〒783-0006 高知県南国市篠原 1801-5
TEL 088-863-0469 FAX 088-863-0220